備門氏(愛知)の強問に答へ本年 における供米運動の經驗にかんが

保するため神給金および企業の一、朝鮮における米穀の生畜を確

、震奏における米酸の生産を確

太田正孝氏の質問に答へる重光外相(電影)

【東京館店】十七日の食糧増産委

瀬相 一、範囲は渡力均隔、整

浮励闡製力を防止する方策は一

日本航空部隊が十六日ガダルカナル島の米軍【プニノスアイレス士六日同盟」ワシントン來電学院の港湾は

ガ島を連爆

増米計畫勝算あり

中總監杉山氏に答ふ

したが、けだしこの緑地地帯設

る國土計畫の一部にまで引上げ

して市街地計量令を改正し、

既に昭和十五年末、内地に先

開を意味するものであることは

定し、多数語(開岩龍地區)に城岸の市街地計機を輝更温加指 すると共に、保山(降仙地區)

ゆる大建築物の策略を置つて空

の際の弾動地域たらしめ、いは も確保することによって、

度による被害を最小限度にと2

都市ご綠地帶の設定

競展を防止すると共に、空地を地を以て配割し、市街の連續的

當然であり、その土地所有者の 際に設置さるべき建設物にも一

百萬人の人口を包載すべきこと後には半極四十キロの地域に四 は、例へは原城府の如言、卅年 現在の人口膨脹の趨勢よりすれ

財務局長との間に行れた庶疑順答出元治郎氏と田中政務無監、水田

| 百廿八人、工頭道三萬一十四百 | 取粉、乾細時は寒節中である|
| 大・人・合計二三萬餘人である| | 大・人・合計二三萬餘人である| | 大・人・会計二三萬餘人である| | 大・乙のうわから整備されることによる食機避労の割引が合如何|
| ととなる。十八年度は全種の五 | 大・周 | 東西縣 | 下・東西縣 | 東西縣 | 下・東西縣 | 東西縣 | 下・東西縣 | 東西縣 | 下・東西縣 | 下・東・西藤田林 | 下・東西縣 | 下・東西縣 | 下・東・西藤田林 | 下・東・西藤田林 | 下・東・西藤田林 | 下・西藤田林 | 下・西

増進を期待

ドクー佛印建督皇明

地力域能を定めた朝鮮機器氏

いよくこれを適用して

るといふことが出來る。

事防衛上の格と古へなる懸念に 定するものであって、所詮は従

> 火地帯をらしめると共に、また めしめるは勿断、それを以て防

既耕地として食物の目輪、市民

いても、これを自然と人間との

公園等の指定設定は、まことに

味からも、緑地地域、風致地區あるから、その前提としての意

また皆鼠と豆に相協力し、その

簡工築着は耐頻為十九萬九千七 ものではない。現在朝鮮の中小 H ものではない。現在朝鮮の中小 H

杉山氏 特別資計法第一條に

き必要性が痛べされてゐるので

生杉山氏、栄養語名のなび企業

「生杉山氏、栄養語の財源として、公園・園三

「日井湯園を着行ることになっ

「日井湯園を着行ることになっ

「日井湯園を着行ることになっ

「日井湯園を着行ることになっ

「日井湯園を着行ることになっ

「日井湯園を着行ることになっ

「日井湯園を着行ることになっ

「日本園ではいる一人

杉山氏 朝鮮の対米には水利 事業の改強が彼もよい方法であ ると考へるが如何

時の金利の情況を考慮しなける一種となってある

び 政務線盤 下向高温が構立し サ 大土地市長計算は一晩中止の日 サ 大土地市長計算は一晩中止の日 サ イは添えに象話計算を樹立し目 イ 下裏地側登場関がその同じ第つ

杉山氏 第八條による食服の

財務局長一千三百餘四回で

如き勝明を後要した如き勝明を後要した

の魔會演説に對レドクー佛印刷祭

食機管理部案以及と

らなる都市膨脹が、やがては取

農業施策に全力傾注

總監、石坂氏に答ふ

際長より動語率答案を挙呈したと 議は午後八時五十二分開會、両田 【東京館店】十七日の衆議院本會

太田正孝氏 \*17 金樂整備

衆議院本會議

衆院豫算總會

る前語を魅った音を報告、糖員記

門題に開し

後零時五分休憩、午後一

地方勝と連絡して計算を構て一り地方勝と連絡して計算を構て一り流に影響する。客機回収、続知「紅作業がうまく行けば対路」は飛翔やい十分でなかつた内地野がい十分でなかつた内地野

首相へ感謝電

パ比島長官から

官バルガス氏は十七日原條首相に 【マニラ十七日同盟】比島行政長 一、栗動隣以方组発制度際に直接をなるこの原現行租発制度際に、整備により中央、地方の税政は減収するのの原理一、整備にはいず、整備に対しめるの原理一、整備に対しめるの原理一、整備に対して、単一に対して、

別委員報に置いて田中政務機監は

鼠四千百萬石に対する九十六%五 百四十萬石を残すのめとなった旨 〇成績をなし、計量完了までに後 千九百五十八萬四千石と買上禁定

强權發動の意な

企業整備に質問集中

戦的眼時下倉庫煙虎眼に適適しつ のある質問を述べ職員に多大の威

総會に於いて石炭繁氏が顕縦の膜

田 手を以てやってゐる、小さな簡単 四の問題としては魔地阻逸霊璽の 断

修に對して規模の大きなものは本 府、中小のものは地方歌魔に補助 治水治山 等については 河川の欧

や、地下水の利用等によって無数

を映へてやつてゐる

1、豫寫外國庫の貨糧となるべき(・)、歌寫外國庫の貨糧となるべき(・)、歌和十八年度各特別會計戲入(・)、歌和十八年度各特別會計戲入

和十八年度數入數出海線第

東京電話一十七日の衆議院発算

物が常國城力の源泉として如何に 重大であるかは数国の要なく、そ

供出米にゆとり

農相 合理的促進を狙ふ

開催に於ける米変その他の段直

一處道水·川石小·京東 **社 造 創**香八大三七京東禄

平山 車用 地區一十三日丁一西平太區中南海 社報日城京 記 51755 平太昌帝 人名英格勒

決戦臨時議會けふ最終日 **| 内院とも快速審議** 全議案、けふ中に議了

付した、一方数減減もこれに呼吸して本會圏に上京委員的計という大量は減衰的などの抵押数長に関する法部数はか一件の影響に入り、進時減衰層はの任期数長に関する法部数はか一件のまでした。一方数減減らいたが、かくて最終日の十八日を強く

職権一個政師決職祭の上版とそ無難として無期決成職員の領尾を譲渡は黄渓院に移された政府提出職業の成立と樂職院の米匹

御家一件を成立せしめ、紫源版は废除の政府総出家全部を誇了関ロは終始返認なる報識を重ね開創第二日十七日には早くも法 を開育、伊遊職家を賦行し豫領家三中、法郡案六件全部を除了實施院に治付した、また影職院は十七日豫領総會ほか二季政治 人東西決能方策の闡明とを二大目的として召集された第八十二

上海、木≪委員長の報告あつて |楽・歌明関係法案三件を一括繁

億敢闘の決議案

殿) 際代離土の認確減設があり引 一億の決定認識強度際かっ能立を思った成氏 (健奈川) 加騰俊夫氏 (臨 | 政能と今次職者に資訊されてある 都委員に対することへし午後九 一院を代表して永井柳太郎氏が趣旨しいふべきである **歯の木曽塚に米英猷が、一億改蔵。建設の魔姿を通現することとなっかり、一般では、一般の場が、大東部といった。** 

食糧對策に萬全期す

## の三件を一括上程、高概委員長報 化樂整備資金措置法案(政府 給部門の整備共助金などの各般に て岸暦相その他陸海軍各省關係官 わたって破疑を行ひ、これに到し 企製整備委員金は午前九時五分開「東京電話」十七日午前の衆議院 木) 上田孝吉(大阪)加藤顔五郎 (愛知)の四氏より工業および配 根本的刷新が狙ひ 委員會 **岸商相答辯要旨** 0 り他部門から瞬用された工場設 その性格は飲めて積極的である、

後も識開したが、右のうち上田氏 時十分酸密質に入り休憩のトラ午一日は次の姉くである 際的質质型頭などを関切、午後窓、し民際相の影響があつたがその要とより今次企業整備の根本方針の具、また、小倉、船田岡氏の臨間に対 | 第道による消極的な整備ではなく

職について板本的な刷新を加へる ことが大きな狙ひである

加工策、第二種工業および第三

貴族院本會議

(特第一號) 通加案(特第一號) 通加案(第一號)

いのでかやうなところは個質療力と違い交通不便のところが多

統制(會)社 一方において大線が制度が関係などの整備が行は込まがら観点では多くの不要が再算が存在することは國民の類形に一味を可服が多項へるという意見には全く回版でありるの世級を行うになって最大が出資能の自身として自下統制資能、の音がの企業を開催を担ぐ回りは異全になりての方。 由 未統制資能、統領國際などの一環として自下統制資能、の音が自ずかの企業整備と供行してまたぞの一環として自動を開始した。 由 未統制資能、のでは、一次が開始を取りてある。 由 未統制資能の時間を申りてある。 由 未統制資能の時間を申りてある。 由 を持続しているが、遺憾をがしるの 便句は因金に終行されてゐない 合きが、遺憾をがしるの 便句は四十分に過 の音がる 如く値切み 相置を認 にならしるその便のを十分に過 にならしるその便のを十分に過

路

正義著

初

0

植

物

園で

企畫院總裁 を建じついて、見を述べ探決に入り ・ 総務者などを除く。その他の部 ・ 国に於ける在生活の加きはなら ・ の和十二年年度特別 ・ の和十二年度以入 ・ の本十二年度以入 ・ の本 ・ の ・ の本 ・ の

の関係と大祭向を系列の関格表 リ、次いで別項の強く電視を担いては、 関係と大祭向を系列の関格表 リ、次いで別項の強く電視を氏と

織あって午後五時五十分休憩

治氏と小泉摩相、武井摩生夾官と

駅)契約をなすを以する件(追第)

首相演説と各地の感激

備委員會

**使殺行)中改正法律案(政府提** ,昭和十八年、法律第九號(國 も原案通り可設向五十分開密し、関東が提出)、(政府提出)、(政府提出)、(政府提出)、

學文史歷作名

即東亞聯盟建設東灣 東西 東亞聯盟同志會稱 西朱東江州の京

國防政治論 電 1:08 Ш

衆院企業整

源 盲 著 B六判上拠函入三二〇頁 **戦 支那革命外史 覧 100** 東照:

原田武士の典級勘具家加維司等が数に投ぜられて三日間死に就く数の発に投せられて三日間死に就く数の発向上落然の最同、展別等。他に何上落然の最同、展別等。

の龍の炎禁 爲 爲 止 圖恭記令 夜間二・10 房 書 紀 聖 飲 町保険・田崎・京東 人八五二一京東容服 房

花 善 山 袋郎治

産戦の要請……森日書ご運營【響線線則】……土屋

◆中間高州氏(帝國銀行京城 長)東上中のところ十八日

決戦と國民動員「特永義夫 方經營私見:石原廣一郎 弘

注目の的アラスカ …… 病細 断洲外交戦の内幕 ※ 蜘 東京銀座、版東京三二六 東京銀座、版東京三二六 一本社 愛行

人手不足をどう克服するか……松本伊勢之丞 ルミ株の -----松下 古之節

10 部品第スルア 可保幹・田幹・京東

図 1 → 青年國と老年國-※西東

將 櫻井忠<u>温著</u>

い物語。

両原るデオでてて 配以こそ針今るのは

偕豐麒麟★刊新向年少青

老船長の話小門和之助著 然へた本。

|国事の泰斗となる。その子 伊藤永之介著

成

や川の植物研究 Ø 物 研究 研

岸の

0

頭の理

書叢究研の科理

近藤太郎著

谷口孝光著旅

学典秀雄省自動車の理科研究 お台所の理科研究 行の理科研究 

農

料

0

所要資材は戰時特例で取扱

鈴木企武院派裁の答

が記問さとくにこの語に一て、肥料、 医種具質材については「塗の海頭への寒場回頭を範囲した」目を明かにした が軍徴用船頭用部圏および木融産「以下の帰船は今後木造に振替へる

の供出

これを確保する。 五百噸以

長さ五十米以下級トン数五百トン 西經派別館取門委員會 を新設、 酸への協力方類を積極的に推過す。は第一回因繁分科會を開催するでの他朝鮮翻響經濟の大東亜經濟建しな競會式能に普夏縣話會、下九日 数つてあるが、それ以外は奇材 理報道は海軍において一元的に 理報道は海軍において一元的に 本年 本年

成果を收め得ない主要な原因と結果、共販への出廻りが豫期の れ(三)は西本社長 重點産業の一として増産へあらめ

保留礦區

の新開

有煙炭增產 ^ 有効施策

少の卑鄙を受けたとはいへ全般的を呈してあるが作柄は部分的に多

衣料としてのみでなく原料調よ のことには単に自家用

小機業の整備

P)

(戦ホテルに羽鮮委員會幹事會を開とになり、十七日午前九時から朝

● 常化及び食部を帰盛し便率を割除 ● V. B 位体・消化素・奈養素等を豊含

哲則に力を注いでゐるが早くも

し計畫生産の成否は一に供出

灰

石增產

朝鮮燐鑛が着手

株主配営は無配である ネ總會 ト開發の郊八田 朝鮮マグネザイ に血みどろの蚊閥をつづけてゐる だいても一部論議された如く未

> を要求したが大阪省の容れる所と 認め本年度豫位にこれが顔庫補助 石については認督府告局もこれを

に技術戦の頭化、

文部戦の弱化、遷航場<u>顕</u>元、野

は十六日午前十時半から同戯會属

株主總會別定時株主総會別定時株主総會

巨社组合便少

人につき諒解が成立してゐる漢|過歌本部に乾証された大鬼距響が「墜緊」を選、修務、金融、安易そわいて飯業振興より百萬颐の僧「東田總添騰」質明賦委負責では、「委員費と啜客に運織し、艦工製、て充留する方針で吃に本年度に

半島經濟の强化

大東亞經濟朝鮮委員會發會式

財制顕常振興で一中心とする工場、顕山、各事楽型

の建設に努力するこになってある

17、 

富規利益金属分案承認の件

財産目録及損益計算書承認の件 が激しく、戦力増弱のための生産 最近の食糧事間生必物資部給不固 一、當期營業報告、負借對照表、 勞務者移動 京商議で調査 乳票株式醤祉が出高国を出資して

月中旬から収場および酪騰事業

となしたのに對し朝賦は難駁が主

外変の最高敗毀四格(以質)

半島食糧

0

麥類價格大幅引上げ

一、大婆の最高版整體等(叭幣)一、大婆の最高版整體等(小鄉子 百二十九)一、大婆の最高版整體等(小鄉子 百二十九)一、大婆の最高版整理一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の最高版を一、大婆の表現

全羅南道光州府全羅北道全州府

幅引上、瞬間、棚花等の改正

部品一駅(正味九OF)の最朝鮮破物が命令にはである。

Νî

本月廿四、五、六の三日間新京大

半島側出席者確定 日滿經濟怨談

> | 運池に灯をこぼしゐる登季かな | 夕饒の懇用遠くなりにけり | 夕饒の懇用遠くなりにけり | 左人

南道咸東府四、三三、空三、空

人城、櫻井町一ノ五山之上忠松 文化だより

酒は大瓶八圓十九錢、小瓶二匱八十五銭で全國の

東京選谷上通四丁目養命而本館

-1

一人一枚一句廿日(日)締せたまひむり

身體が弱くて人の半分も働く事の出來 仕事が愉快に出來るやうになると 仙酒の養命酒には貴重藥草の活性 獎めしたいのは信州伊那の谷特産 つて食事は進み、體力は挽回して 宛飲んで居ると胃腸の働きが活潑 が澤山含まれて居りますから朝夕 家傳で名高い養命酒であります。 人がありますが斯う云ふ方々へ是 ら働いてもまだ働き足りない今日 肥り精根は强くなつて疲勞知ら 18 に充擴産生 強滋酒仙 







参精

▲初陣戦記雨本洋海野 産品産産 行動の場合の大学 では 一人 かった では 一本 のでは 一本 に 一本 に しょう に しょう

鼠 方b作 行發·社談議會的推本日大 

1

(針點)

> 農村にて 農村にてい

ないことは勿論だが、虚楽の的

方便に解することは、唾棄して

小規模曲四個領導】

まして、一時の不自由しのぎ

高等官七等を以て待遇せらる

|(六月十五日)|

初巡視の際、富寧郎宮居面に於て【清津電話】小磯総密は昨秋歳北

場建設 北鮮に大牧

同地方が乳薬の適地なることを指

常英

總督府辭令

質與季節である。

れば自薬酒、普通なら普通で年 その代りに、多ければ祝れ、少け 一人つてゐるか、開いて見る生

**信りて、僧的な生活をしてゐます。** 

夜鳴く鳥を孤山に続く く風に退はるゝ後の靑波

わが君に聴かせまほしや部ごも

赫土社作品展 けふから三越

に選するため作られた理研作品文 上映造『震夷歌』は目からの数が して各方面に利用されてあるが

Ħ

土木株式會

内外國団は九歳<u>医と類定されてる</u> 在勝べによる日露戦戦開戦以來の一

町番は戦争する。

である、この関係競行によって

即ち内地において三億八千

銃後も貯金で参戦

郵貯法の生れた由縁

な巨額が総て駆引強つまりた九億額といる皆時として

成数といっても當時は殆ど

ったのだ、兵器職たることを引受

畏し



明朝への四文字を揮磨したも

祭を押しその都度順達の手欄を

下には威刀均穏に延身する航後女【水戸電話】久瀬宮妃知子女王殿

忘れ

た褒賞、電話で

三交換嬢に總督の溫い親心

交換室で安原さんははにかみ

今後も、

は續出

Vものの態度如何がマーく感れて顕江したが十六日朝十時 関いて交換器 | 同を集めて顕近しい時間を 東京電話 | 【第一級 | その話を将出すこを忘れるともな。午前九階融資出席の近しい時間を

れ際交換頭への「記れた要性」の「交換器安原弘子(こ)工野美江子コリ郷管自身が現れ弁成所長にこった、実践されたのは同事務所

三種が一般の耳に入った、緻密は忙しい健



皇太后陛下

京電語】 皇太后陛下には退 四名に勤しては地方長官を通じて

**子女王殿下** 久邇宮妃知

輸器に代る窯業獎勵





白樺から代用重油 街の研究家に凱歌

渭殿戦奮降用電場。ら地て來てゐ ていったかといふことだついての するのにからいってゐる、甑ち毎額國でも『歌歌』とすふ考へは日 | まとめな工舎で願訳の題に挙及し | 行はめた、彼女は擱置貯金を宣岐

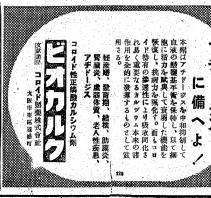
で語ら越されたのは事質であつ 大戦終煌後の歴史家の選

石毛馨三氏殉職

100克 1140元



才井商店機械部 アチドージス



高血壓・神經痛は 液を淨化して」 濁りが原因 循環を良くすれば、当る 

中風

東局(5)二、七八六番

老後に、恩給

お目見得の。郵便年金

國民服乙號心

宮中禮装を認む

宮内省から實施通牒

中開係においてもこの特別公布に例が十六日公布質施されたが、宮

入所試験合格者は左の如し

が図められてゐたものを甲號機

る治刊ともからの時にある。

でよる網路者を移入活動される。 を應用する代用輪觸の研究に一年立し、従業員は内地の企業鮮朝 を應用する代用輪觸の研究に一年による網路者を移入活動される。 小野咸北産業部長、下關で語る

の御用命は發送品、機械類等の荷

D THE 粉苑

| 快碗\*便筒 効有同時長の間時五・四約 +で當適が換交

吉松商店

● 朝鮮運送は留意願います

ちその療効並に持顧時間の未復に 留意して製造 ちその療効並に持顧時間の未復に 留意して製造 せる粉末過布薬なり せる粉末過布薬なり

ロイマチス、打撲痛、絵建学 惑冒、脚炎、肋膜炎、神經流 主治効能

變更致しましたから御児(2)一七五二番)

品本局(2)五一一番) 休式會社京城支店

月戦かさず電兵金として慰金を練一田舎から佛像一座を百國で買入れ した、なほこの日、武官府には毎、終氏は昭和十五年十一月頃成南の大敵、秀使、慰闍等料計覧を散紛、府内公芸領原第四日一七一原田第一大の大衛の第四日、七十月日頃、日本の大田の東海が大田の東京の大田の東海が大田の

十七日、四大門署に寄せられた歌

山本元帥。英國學學學學

タイピスト採用

朝鮮販賣戲

家 政 學 〇大熊信

けてある昭和中等學院の職員、生

重量は二百百八十次であった

十七日、龍山響に寄せられた献金

献金の花束

健全なる結婚の言語性に

こに 京釜殿道の 横断により旭川

数村も假然繁盛の途を辿り、 中に設置されると、同附近には

大和町、開鉛等では酸、風量類は

續く献金、献納海軍武官府へ

**梵鐘、香爐△戰線** 

^

眞鍮器類

あつた。彼はぞつとして、

ちえツ。雨漏りかり

七日武官府を訪れ第一次敵納とし一物魔会子艦艦駆殺に送らうと十

佛像も征く

國本德容▲五圓龍山塔泉安於凱游

かいてあた。今日はどうしても、 かいまで、彼は深い眠りに落ちた。 目を観ますと、びつしより开を

及び城道工場などが明治四十

村校長の警頭で七月中旬から各塁

埃の街の汚名を洗ふー

選案、西界兩町に清掃班を組織——

名な選系機から西界町に通ずる道 略は赤に夏になると、埃が飛鞍し 京城でも埃と熊芥の道路として和

/埃の街/の汚名を沿び落すもの 江雄、金瓜の 現城の女 毎日選組

版水などを献行して

しい盟員が、海洋道場の設 立と決に本格的な訓練に

が に が で くまれて

所奉告式

勢と記る

## 欧州と希野を盛つて欧宗よは、恩譲も賢新しく。附出 中で 疑もその 野色を誇る

その時代から存在してゐたも いも力強く湿しき前進を開

は各道より王宮及び官場に納付

防疫に鐵壁の陣

燃え立つてゐる

の二つは何よりも心頭い最大特色 成した街として盆々千釣の意みを いが、それが故に一つの立派に完 でもあり、またこれがあるがため がないのは省然である、しかし外

実施完全へ中間翻奏力確保・この既内に感謝神社があることも「は古風も探しき京城人の精製雅し」・我らが町の女々としてその手腕(部の 厳密も、層影とる 豚◆ ◆ り、詰ffl盆にもなれば人道樹附近一段音差続が次長を勧めたともあり」 滑水場として府民の際無道場とな 江に眼を轉ずれば夏は水泳、冬は 氏な以前、中華民國新

卷の區山龍 られ、今年中には竣工する見込み 無線としては 金融一の 歌音を歌 し、これも自慢になるであらう る龍山昭新原宮は九月頃完成する

> 件、町會数計九の堂々たる龍山區 越人口十二萬,越面极十五四个方

> > 朝

京日案内

彩到紹介。

一に頻繁の政治を防る頻道局

大いなる祭

[162]

中野 三芳 悌吉(橋)

一種十五円の大

して行きたいと思ってあると 傑は、夏の宮羅を思ひ出しながら城内の安宿へ引揚げて來た張三

脚を問合せて來る若いものが多い毎日のやうに手續き上の方法や規 そは国たかものと深砂脏在所へは 数の第一回海軍特別志願へわれこ の観響唱があって閉式した 既に忠順概を提出した者だけ またも血書志願 でも八名に上づてゐるが伊原滋客

「繁製洞窟生が増加する、人的流滅」 すことになつた 「勝要に異金を期

成で突進すること」なった の選しい留を鉄層、夏季休暇を鉄

林間訓練を資施、優兵の持へ

健兵の母へ 身の鰊磨へ突進神明女學校で心

んを戦師に逃へて全く國話を解し

を築めて、來る廿一日より九月日 ない十六歳から卅五歳迄の婦女子

海の躾な錬成

の削途を見込まれてある少年であ いと確認して一間を感激させてゐ 製込んで憎い米鬼を討たせて下さ 君でしば血管をもつて是非策略に

るの野郎、敵域にかこつ



を対象を を記述、 を込た、 のに述います。 のに述います。 のに述います。 のにできる。 。 のにできる。 のにで。 のにで。

気との最近を自分派に一應さう駅

木南硝子

市內外貨物運搬引越荷造其/他

FI

安な氣持を一掃するやうに强い酒 タガタとガラス戸の鳴る質に、 て『余は李 頭の口はなり。余 の命令なしに行はれざるところ 選がにこのことを認識に告げて

日廿四の大京城から関東病を接破

近には各種の倉庫、その他が権比

國班員の衞生職念を帰めるこ

守より來賓を代箋して脱離入所皆 行したが、先づ國民魔滅の人も黄 神社大前で官民多数列幣の下に選ば去る十四日午前十一時から江華 陸軍特別志願兵九名の入所率告さ

めたる上報告可致医の資質を確合 場合上にも由々しき大事なれば 代の事にて戻も、もし断一この 服三傑を制裁しわが概を飲めた 一原材台にこれを報告し、 強き消す如く

明治製菓賣店

女店員募集 謄寫





大田はる演

麗師會

変 化映 書 ・大田ヨリニナロマデ

禁用クリーム◎

洗顔クリーム

(各物業者・化粧品店・首組店に有り)

nst·大阪 大陸化學研究所

**販費** 造元

大會条有

治療せらる 2 を要す 青も粉状性ならほAOE依り可及的迷れに早期

一回上海・大地の母』に選及一日・金宝書田・金宝書田・金宝書

日本ニュース

本社東京·支所全國七十餘

城府長谷川町ニニ 男 村 久 子順上なりでは、 野村 久 子

而國與信所京城支所 調査機関 電話②六九五四番

診療 (陰) 性) 大の離別困難なり、 検ル・サイ(弱 陽 性) 北京東書とありて ・ 一等陽性) は長端の開業とする。 A-0 7-1 結核 治発 療疫 劑







好い時期です が 一番







が地の建設が新時報 医学博士 白川 寛 京城元明-丁目-〇八 (元・平岡医院 師) 電話竜山④ 1151

右發著信息機以是原因時

樂天堂製藥縣會社

を重要で、 神経・東京・神田・司町二ノ二、新田(B六判、二五四頁、) 暦六 中経・東京・神田・司町二ノ二、新 十銭・東京・神田・司町二ノ二、新 ・ 日本・神田・司町二ノ二、新 ・ 日本・神田・司町二ノ二、新 ・ 日本・神田・司町二ノ二、新

【海軍特別志願兵を語る』 医設督 参級派(六月、海軍志 願兵時報號

東局電話主意情人なし左三

新本計理事務所 一時上の後夜運動公司 一時上の銀夜運動公司 朝鮮、樂劇園 一時上の銀夜運動公司 一時上の銀夜運動公司 「現代」 「現代」 「現代」

**國科醫經變遇招** 

醫聘 ル

女中さん募集工業間後の方職と 白川温泉ホテ

包度证书 松野医院 澳角桿菌 (太洋連公內) は二十二時間・一時日

づ | は く ス

高橋齒科醫

































솳





非是は親兩御い愛可の樣子な ノぎつ世の亞興ノ民國少れ護 子供の胃臓場含子供の破尿が同時に痛り 育兒の栞」

郷が帰 奥州齊川 東京孫太郎

勅語 除衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス勅語 除貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

決戦半島の眞姿、騎騎等調對談會

大皇陛下には兩院に對し重ねて優優なる勅語を賜ひ、佐々木鵬議長、岡田職長は恐懼威夷、御

東京常語】佐々木貴族院訓護長、岡田衆護院護長は十七日午前十時相前後して宮中に絶内、

重ねて勅語を賜る

磯總督訓示

1000年十三日下一面平太昌中的城 社和日城京 正皇 第588 平太昌帝 人行战公司 正 在 皇帝 人行战公司

道義朝鮮建設 刑は刑無きを期す 小磯總督固き信念を吐露

心によって苦思を解脱に導かむと

略物査の一大増産に向って結集す

版の中にあり、國民の全能力を取一ら一旦の不所

午後一時より再開、諮問事項に對する答用を行って同五時第一日を終った 応收金鑑冊納所長、瀬洲國土り結靼新京監徴長、同日曜司法郷正轄局郷平官、國東局より田子大運和88支所長で62か早田法務局是外観88各局長、朱戩、本於州上り夏東京城高等沈局長24千各郡務所長、内地代東として 會議は早田法務局長続波のもとに國民後數に始まり、陽唇訓示、法務局長指示に移り、次いで

んでありまして、さればこそ畏く

の大乗精神に比しこれを更に招

るものであります

刑務官の自己錬成 をなるとに由って 「<br />
国和度



したがつて漢字側限の如きもの

内地でも鹿見りと

やうな時に廻りくどく含はなけれ

地方の靴で街 が北に行って

精神的に 眼の 開いた人は 勢ひ 國語一 ひ方が 除り に難し過ぎる、 第一、

見せよ、道義半

目だ。といって相手にしなかった 『お前達は日本人ぢやないから既

ら成北の國語普及率は他の道より

/れ、それでなければ日本人の對

出名課長 朝鮮風は他の西 鹽田局長 総計を見ると一

貧弱な所は首葉も貧弱で、したが

言葉と結び付いたもので、生活の

用語が極めて難しい、辺に新聞用

語が非常に難しい、京城日報は朝

を傾はざるを得なくなる、生活は一法令が先づ難しい、それから軍隊

緊要、指導者たるの自覺

**省し努力しなければならぬ問題が一國語使用の態度は非常に高い所に** ある。これはどうしても引下

皇國民民として、道溪平川

森田正義

日本冶金化学工業樣式會社

上瀧局長 私共も日にさら

使つてゐる國際はさう難しいもの幾つてをるんぢやないか、我々の

をるところである、味に大東語歌 内地人と共に、脳洲人や支那人或 導くことが道義朝鮮の際立、朝鮮 は南洋方面の民衆の兄であり

十六日のドイツ外弥留における

だ、関バツ

佛、亞新政府承

小麥は三圓引上げ +八年度 麥類買入價格發表 裸要四個、小麥三個、ライ麥二個 6石當小麥世四圓八十一錢、大麥 十銭、燕麥二四五十銭を各質領

自相の演説に各地の反響 感激を語

英米の企圖畫餅

以來、潮州國は、官民一致、日本の於て東條首相が『大東龍殿事別發

十二家庭時職會に

大泉距散事完勝のため全面的に協

尊敬す東亞の新秩序

鹽田農林局長談

建國以來寄せられたる情道に

常局は帝國際會に イタッ 盟] イタリー政府 東京

である」といふ意味のこを述べ

カレ、これにより北の護りは磐石

三國條約の勝利 おける東條首相の「各数会融入ら収別をよりこ、異数「ペルリン十六日」に懈へられたが、さらに十六日を「ペルリン十六日」に懈へられたが、さらに十六日を 全し我等青年國回答

感を表明し、印度から英國の勝力

プト ジョロナ ながら

分析的 少量スリこりば皮下菌を必慮し、悪に分泌を制し、悪に分泌を制し 水虫、たむし等に理想の良楽 聴い痕も残さず 快く痒みを止め 田里、水里、しらくも 5500 曹病屬皮

國の一致した明瞭な回答で 貴族院本會

が行

是都

説明あつて特別委員所託同せ 郎の

> 時節柄 プにお 節約

二〇〇錠入 二。五〇八五〇八 房藥井新自丁二通門大闸府城京元壹販鮮朝 所究研學化藥實鐘 葡萄

で て で 日 意 す そ の し る 相 る の し る 相 る

食慾

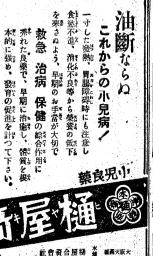
進

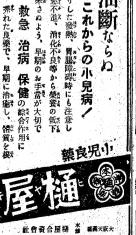
THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH 進

電が 薬 報 すて し 保 な 原 園の 年 以 空 5 軍 で ツ た す 職 議 民 勝

1

食然不進、消化不良等から荣養の低下 はまれた。 消化不良等から荣養の低下 を來されよう、早期のお手當が大切で 油断なられ これからの小兒病ノ 教急 治病 保健の総合作用に 秀れた良樂で、早期に治癒し、**開質を根** 藥良児小





戦人女性を御視察

四年にはつて雲る、この像版を観。 だなん々 左向らの総合もなく情楽 ・ 抜けて日間で漢ばれのだく、 関連関架の破壁を観。 の地動に響くて上名の頭似時別記。 れるべくもありません側がのだく、 関連関架の破壁を想。 の地動に響くて上名の頭似時別記。 れるべくもありませんのなった。 まじたがせむ割しとでは、 まじたがせむ割しとのなった。 またがはいるの形にあるない。 縁道派員・ つん日で派ににある形にあるない。 最近派員・ つん日で派ににある形にあるない。 最近派員・ つん日で派ににある際

す、いは、2000万があればある器 から深るものであり、自分選は から深るものであり、自分選は

なく、うともううか、最近地域(クショで流)にあり始の感謝は高いしては多くと答べる。 じつと答案 一、一、 が何に難じ、 質 大概の目はその視めての影響があいの言りつとした信仰がと得らし扱らい。 『』』』

このもの」やうに感じさせ 強行軍で 死ぬばでついて

い志願兵の闘魂

か なって來た、これに耐して民間の 一 ・ 方では不用・或は総つてゐる佐語 神 の は自練的に関係的影響の方へ烈し四 ではべまり、 これに耐してい間の 一 ではべまり、 これに耐してい間の 一

街頭で債券賣出し

如の固き奥りを密々深くさせよう

が現地視察

原域や開放部プレールにで、一八九藤・本證券・會社京城支

新利紹介品 利太伊たれら作てつ依に匠名の數有界世 ・篇題のみでのよう。 日四三日間 電映作等超級際報果 作既二額伏井田衛男哥己湖成 領主即二大川夏・子秀峰高 んさ 掌車の子秀 ま足滿とつきをシブフのコデ の 嬢内楽き 白面節さし愉る

んさ子秀

引入十八章 清験に 玉枝 領3 渡邊邦男のほる 柳田 貞二 三木 利夫 





大相撲日延べ

なるのいん 三明治明排京

我也并名称的**阿里看**多個別學 わきか新療法連無

期短

電外 島 摩甘

/ 冷c地現 班道報/

大野上等長(平南安州部新安に駅の新勤室二本を縁付けた

型式株 一硬

けふの市況

或

南方四萬メートルの海上は危険 を辿する

半島事情を視察 者名雑誌社代表ら來鮮

水陸競技も實戰型

日本的性格の種目に重點





